

第64号

発行日: 令和元年5月1日

発行所:

東京青山同窓会事務局

〒111-0032

東京都台東区浅草 3-8-2-1101

工藤 義夫 (74回)

e-mail: info@tokyo-aoyama.org

TEL: 090-1704-2413

発行者 日下部朋子 (82回)

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—

1口1,000円/2口以上(年間)

会計幹事: 川上康夫 (79回)

振込先: 極力①をお願いします。

①郵便振込口座 00150-9-4074

加入者名 東京青山同窓会

②三井住友銀行京橋支店 普 8430640

東京青山同窓会 会計幹事 川上康夫

『平成30年度 東京青山“カジュアル”ますらお会(第3回)』

平成30年11月17日(金) “(春の総会・新人歓迎会)とは別に普段着で集まる会”

工藤義夫 74回

3回目の「ますらお会」は平成最後。同窓会には初めて参加の若手女子・学生なども交えて、青山会員同士、思い思いに語り合った3時間だった。

従来2年前まで同窓会は春・秋と年2回、赤坂ANAホテル会場で開催するも本会財政の逼迫もあり、公式には年1回春に総会兼新人歓迎会とし、会場も変更している。しかし、年1回では淋しいとの若手からも声があがり、秋は別途、カジュアル会＝ますらお会としてくださった会を開くに至った。

若手学年幹事(122回)田中麟太郎君と壮年の学年幹事(90回)森 豊 君等が率先して引き受けてくれた。

参加者は、1回目(H28)62名、2回目(H29)34名、3回目(H30)30名とそれなりに続いている。春に来れなかったり、新規に出てみようとかなど時には新メンバーも垣間見えたりする。

今回は、85歳青年の小村幸久先輩(59回)を始め、80歳前後の星満先輩(64回)および鶴賀政行先輩(67回)などから、大学5年生に至るまで様々な世代プラス働き盛り(?)の女子達も参加した。

最高齢の小村先輩の音頭で乾杯!以降、たまたま隣り合った同窓生たちと話し込んだり、席を移動しておしゃべりしたりなど、不思議でしかし懐かしいような出会いではあった。

初参加の石川克彦君(74回)がやおら立ち上がり、春の東京青山会報に掲載された記事を参考に、同期のイスラム学者・五十嵐一(元筑波大助教授、非業の死を遂げた)君のことを語り出したりもした。

また、幹事の森豊君・田中麟太郎君からは、今後の東京同窓会ではもっと多数参加者が集まれるように工夫

したい、例えば、去年拝見した熊本高校の東京同窓会の数百人規模の参加数と、卒後20年目生が会の運営全般を担い以降毎年繰り越して行く方式なども紹介。次回から手始めに90期生がトライしようかと。(古代ローマではないが)すべての道のりは1歩から!

会の終盤は、恒例の校歌・応援歌だ。田中君指名の加藤爾君(122回)リードで連続で斉唱を。土曜の夕べのこの丸の内界隈に轟く声!! 30人とは思えぬばかりの歌声であった。

続いて、鶴賀政行先輩(67回)挨拶、去年20年居住の米国から帰国、今はイタリアにはまり、旅やイタリア語を習得中とか。そしてサンタルチアをイタリア語で朗読! 最後は、酒井優理子さん(110回・総務省勤務)から今日は楽しかった、今度は更に同期生にも声掛けしようと言言。...19時、散会。～二次会に流れるもよし～晩秋夕べ。

“平成ラスト”のますらお会



改元 ; 明治 → 大正 → 昭和 → 平成 ⇒ “令和”

『平成30年度 東京青山・(第3回)カジュアル“ますらお会”』

平成30年11月17日(金) “(春の総会・新人歓迎会)とは別に普段着で集まる会”

工藤義夫 74回



ますらお会・パノラマー1



ますらお会・パノラマー2



ますらお会・各テーブル

“火曜会～H30忘年会”：東京青山同窓会 2018.12.11(火)／日本海庄や・上野店

“平成最後“の忘年会～ 来年は？
敦井榮一青山同窓会会長も同席！



工藤義夫／74 佐藤 茂／77 勝山達志／90 森 豊／90 佐藤 晃／104 宮本真理子／120
 星野紹英／84 成海孝二／81 古川明久／100 敦井榮一／69 坂井 靖／74 池 一／74 谷中健治／74
 (青山同窓会長)

会長挨拶

東京青山同窓会会長
佐藤 信秋 74回



会員の皆様には、ご健勝でご活躍のことと存じます。昨年の日本は新潟市を含め、冬の豪雪に始まり、各地で豪雨、地震、台風被害等、記録的な災害に見舞われた一年でした。

しかし、そんな中で、「住んでよし、訪れてよし」の新潟づくりを提唱する花角英世知事(85回青山卒)が誕生したことは、大変意義あることでした。毎年1万人を超える人口減少が続く新潟県をたて直そうと懸命に取り組んでいる知事の姿に、多くの県民が期待を寄せていることは皆様もご承知のことでしょう。

先日、ある雑誌から依頼を受け、新潟の課題とその克服へ向けての方向を寄稿しました。簡単に片付けられない問題だからこそ、皆で一致団結して取り組まなければならない訳ですが、皆様は如何お考えでしょうか？雇用の場づくりと教育の問題、Uターンを呼び込む方策、子育てしやすい環境づくり、インバウンドの呼び込み等々、さまざまな取り組むべき課題が山積していると思います。

私はかねてより、ふる里納税やふる里学部を提唱してきた1人でもあります。ふる里納税は返礼品の多さが問題となっていますが、同じ住民税を納めるなら、自身が育てられ、あるいは父母が世話になっているふる里にも住民税を寄附する気持ちは、多かれ少なかれ、誰もが持っている素直なものではなかろうか、と思っています。ふる里学部は、例えば医学部では全国で定員の約16%に広がっているようですが、医師の国家試験合格率はふる里卒の学生の方が若干高いそうです。もっともっと多くしていても良いんじゃないか、と思っています。安全、安心に暮らせる環境づくりも大切だと思います。そして何よりも、我らがふる里新潟の、人情味の良さ、見処、食べ物一杯の良さを、我々東京青山会のメンバーこそ皆で広報、ピーアールに努めようではありませんか！

“東京青山柔道倶楽部・例会”

～ 東京・吉池にて ～ 成海孝二81回／尾口優子102回

9月14日、倶楽部例会を開催。最長老の福田満先輩(58回卒)をはじめに中高年男子、そして若手女子2名も加わっての賑やかな集まりだった。



◆ お知らせ ; 新ホームページ ◆
平成31年4月末頃迄に、本会「ホームページ」を刷新予定。
～乞う、ご期待を～ カラフル、かつ、各種連絡なども充実！

◆ 探しています ; 古い東京会報 ◆
新「ホームページ」に昔の会報を掲載したく、第37号(2005<H17.5月発行)より前の分をお持ちの方は事務局へお知らせ下さい。

平成30年度決算 および 令和元年度予算 (H30年4月1日～H31年3月31日)

平成31年3月31日現在(金額:円)

| 摘要 | 平成30年度決算 (H30.4.1～ H31.3.31) | 令和元年度予算 (H31.4.1 ～R2.3.31) | 備考 (令和元年度分) |
|-------------------|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------|
| 期首現預金残高 | 1,633,997 | 2,104,673 | |
| 収 | | | |
| 年 会 費 | 935,000 | 800,000 | 400人；前期+0.9 |
| 総 会 費 | 502,000 | 500,000 | 総会兼新人歓迎会 (会場変更：100人) |
| 本 部 補 助 | 100,000 | 100,000 | |
| 雑 収 入 計 | 60,000 | 60,000 | |
| 入 | | | |
| 受 取 利 息 | 13 | 11 | |
| 合 計 | 1,597,013 | 1,460,011 | |
| 支 | | | |
| 総 会 費 用 | 757,335 | 700,000 | 総会兼新人歓迎会 (アラスカ・Pr.0店) |
| 第3回ますらお会補助 | 0 | 120,000 | 2回分；(H30&R1) |
| 会 報 通 信 費 | 209,358 | 500,000 | 2回分；郵送料減。 印刷等；外注→内製 |
| 事 務 局 費 | 109,500 | 264,000 | 人件費、出張費等 |
| ホ ー ム ペ ー ジ 改 修 費 | 0 | 110,000 | ホームページ刷新 サーバーレンタル料等 |
| 出 | | | |
| 会 議 費 | 7,540 | 110,000 | 会議2回+検討会1回 |
| 手 数 料 | 42,604 | 40,000 | |
| 雑 費 | 0 | 1,000 | |
| 合 計 | 1,126,337 | 1,845,000 | |
| 期末現預金残高 | 2,104,673 | 1,719,684 | |

注1) 新・会計年度期間：2019年度 (H31.4.1～ R2.3.31の1年間)

★事務局からのお知らせ★

・次回会報へ投稿のお願い

同期会、部活会、スポレク、趣味、体験記、旅行記、地域会、新会員紹介 等何でも。(400～800字程度。写真もあればなお歓迎)

◆事務局から各世代の方に寄稿を依頼します。

・年会費ぜひお願いします「2千円」

(※1千円でも可)振込先は1,2頁にも記載。

★各会員・特に若手皆様へ

氏名・住所・電話・email等変更はぜひご連絡を！

～ その他、何でもお問い合わせください！～

事務局・工藤義夫

e-mail ;

事務局 info@tokyo-aoyama.org (2019.5変更)

(個人 plutarchoshannibal@yahoo.co.jp)

Mobile ; 090-1704-2413

2019年度 総会・新人(127回卒) 歓迎会のご案内

日時

(2019) 令和元年 6月21日(金)
受付開始; 18時~。開会; 18時半
開催時間; 18時半~ 21時半 ゆったり!
(フリードリンク; 19時~21時半)

会場

日本プレスセンタービル10F
レストラン「アラスカ」
千代田区内幸町2-2-1
TEL. 050-5589-8667

会費

(料理良し!)

男性; 6,000円
女性; 5,000円
学生; 3,000円
新人; 2,000円(127回卒)
☆別途年会費納付も納付可(2千円)☆

プログラム

◇総会・新人歓迎会◇
高校長と旧3年担任、青山同窓会役員様ご出席予定。
◆講演会◇講師; 大越健介氏(88回卒)◆
★今後の同窓会開催; 森豊氏(90回卒)★
◇懇親会◇着席ビュッフェ

★127回卒の新人の皆様へ

- ・新住所の届け未了の方は実家へご案内を 郵送しました。転居先のご連絡・電話・e-mail変更時は事務局にご連絡を。
- ・郵便は必ず読み、会出欠等をe-mail等で送信願います。次回から、基本は e-mailでの連絡に切り替えます。

アラスカ; 日本プレスセンタービル10F

●本会で、1・2次会兼用。別途3次会は各自で。

◇講演・講師紹介◇

◆大越 健介 氏【88回卒】◆

日本放送協会(NHK)報道局記者主幹

テーマ; 『未定』

(野球~報道~世界の今など...)

<注; 直前取材等での取り止めも有り得ます>

★横顔紹介★

高校・大学と野球(捕手→投手)。日米大学選抜, Mマグワイアと対戦。東大国文科卒。NHK報道局政治部、ワシントン支局長、NW9・MC等の後、現在サンデースポーツ2020のMC担当。“スポーツマン”/“もの言うキャスター”



★今後の同窓会(案)★

“拡大案”

各卒回が順次仕切る。
(例; 卒後20年辺り輪番制等)

...

まずはトライ!

今回は90回生 & ほか~
以降100回台等へと続く..!

~お知らせ~

- 事務局通信:
 - ◆同窓会開催用住所リスト; 事務局(1学年: 3,000円)
 - ◆偶数月第二火曜日の会: 申込み不要・有志の飲み会。2019: 2/12, 4/9, 6/11, 10/8, 12/10 ~ 2020: 2/9, 4/13 毎回18時頃より ◇日本海庄や・上野店(上野6-14-6 山田ビル4階/電話 03-5807-1921) 場所も時間も固定です。ぶらりとお立ち寄りください。
- Webサイト:
 - ◇東京: <http://www.tokyo-aoyama.org/>
 - ◇本部: <http://www.aoyama-dosokai.com/>

年会費の「振込口座」など

ご氏名と卒回とを必ずご記入ください!

- 1) 郵便振替口座 ; 極力こちらで振込願います
00150-9-4074 東京青山同窓会
- 2) 三井住友銀行; 京橋支店
普 8430640 東京青山会会計幹事 川上康夫

事務局 “よろず” 窓口

東京青山同窓会事務局; 工藤義夫(74回卒)
〒111-0032 台東区浅草3-8-2-1101
Email; 事務局 info@tokyo-aoyama.org
個人 plutarchoshannibal@yahoo.co.jp
Mobile ; 090-1704-2413

2020年度総会・新人歓迎会 6月頃(日時・場所未定)・・・主幹卒回(90回台?)

予定; 2019年カジュアル「ますらお会」~ 11月頃(場所/曜日/時間; 未定)

きだたかすけ

～ぼくの出会った最大の「天才ミュージシャン・木田高介」(1/2)

「本名・桂 重高(75回入学後、東京へ転校)」～1949-1980年(31歳で夭折)～の思い出

池一(74回)

◆はじめに◆<初の“ソロCD”>

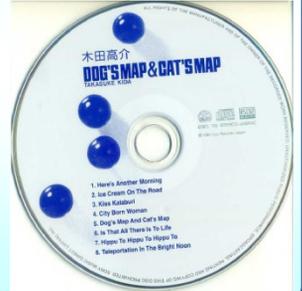
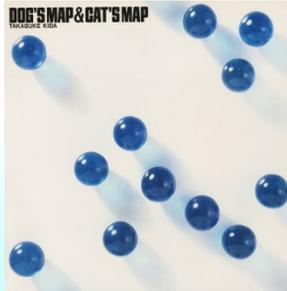
先日、72回卒の富田由李さんからCDが一枚届きました。富田さんは、新潟高校のジョリー・チャップスで1年後輩だった桂重高君のお姉さんで、青山同窓会の受付の手伝いなどよくしてくれた人です。

桂君は新潟高校2年2学期末、東京の和光高校に転校、芸大進学、プロの音楽家になり、「旅立ちの歌」や「神田川」のアレンジャーとして名をはせた後、河口湖で交通事故死しました。

生きていたらきっと「有名人」になった男です。楽器は何でもこなし、まさに、マルチプレーヤーで、ぼくの出会った最大の「天才」です。CDには彼の作曲したジャズ風の曲が入っていました。以下、～ 思い出を。

木田高介『DOG'S MAP & CAT'S MAP』 ～ソロアルバム初CD・最初で最後～ 歿後38年(全8曲/ロスで録音)

SONY Music
2018.10発売



◆ジョリー・チャップス練習風景◆ <1963～4年頃;体育館部室>

写真1は、体育館ステージ脇の部室で練習に励む6人です。

ギターが立石君(75回生)、中央のトランペットが佐藤君(74回生)、トロンボーンが大竹君(74回生)、右端のトランペットが藤間君(75回生)、そして左端のアルトサクスが池一(74回生)です。

桂君は「天才」でした。私は不遜にも、「かなわないなあ」と思った人物は少ないですが、彼はその一人です。彼は音楽に関しては何でも出来た。楽器はなんでもこなせた。吹いたことのある人はわかると思うが、クラリネットの低音部を安定的に奏するのは、非常に難しい。彼はそれをいとも簡単にこなした。

その頃、ジョリー・チャップスは「採譜」をしていました。我がバンドにあった楽譜など売っていないので、オリジナルのレコードを聴き、そこから直接、自分のパートはどんな音を出しているか聞き取るのです。これがちょっと難しい。しかし桂君は、ここでもその存在感をいかに発揮していました。

ジョリー・チャップスも曲がり角に来ていました。昭和39年の国民体育大会(国体)が開催された頃で、みんなが楽器を持ち始める頃です。国体といえば開始のファンファーレを誰が吹くかが問題です。(いかにもお役所仕事らしいのですが)それが、実情などを無視して新潟高校に廻ってきた。私が覚えているのは、入学早々、「中学時代に楽器に関係したことのある奴は集まれ」とばかりに人集めがなされ、毎週、新装なった陸上競技場で東京から芸大の先生(?)を呼んで練習したことでした。中校舎の階段下に楽器蔵が作られ、そこに楽器は納められましたが、(たぶん、幹事役を押し付けられた)現代国語の岩野先生がおろおろするばかりで、結局は中学、高校の吹奏楽部の選抜メンバーがファンファーレを吹きました。顧問は宮浦中学の吹奏楽部の先生が勤めました。

このように、吹奏楽の「あけぼの」の時代ですが、楽器をこなせる奴は増えてきた。そこでジョリー・チャップスでも、出演メンバーの少ないディキシーランド・ジャズからフルバンドで出来るものへ転換を図ることになりました。

そうすると、譜面台作りにも励むことにな

ります。今のテレビ歌謡番組などでバックに音楽を奏でる楽団が使っているあれです。材料のベニア板を買ってきて、夏休みをつぶして皆で作りました。これが一番楽しかった。新潟高校での懐かしい「思い出」です(閑話休題)。

桂君は、クラリネットで当時我々が準備できなかったテナーサクスのパートを吹きました。こんなことが出来たのは彼だけです。

彼は、ドラムス、ピアノ、ビブラフォン、管楽器など「何でもござれ」でした。大学時代、社会人になってからの彼は知りませんが、新聞で彼の事故死を知って「惜しいなあ」と思ったものです。彼の追悼演奏会のメンバーを見れば、日本のポピュラー洋楽界を引っ張っていくメンバーだったことは間違いありません。

死後だいぶ経って同窓会で、彼のお姉さんを知りました。奇遇でした。

このように、新潟高校にはまだまだ人材は豊富ですが、桂重高君を忘れないでほしいのです。

ジョリー・チャップスの練習風景 ; 1963～1964年頃

新潟高校・体育館内の部室にて



桂 重高 (ドラム)

池一:74回 アルトサクス 立石喜一郎:75回ギター トランペット トロンボーン 佐藤正也:74回 トランペット 大竹海二:74回 トロンボーン 藤間邦雄:75回 トランペット

きだ たかすけ

～ぼくの出会った最大の「天才ミュージシャン・木田高介」(2/2)

「本名・桂 重高(75回入学後、東京へ転校)」～1949～1980年(31歳で夭折)～の思い出 <補足;工藤義夫(74回)>

～ひと、音楽～ (公表資料等)

◆木田 高介(きだ たかすけ)◆

1949年1月8日-1980年5月18日)は、鍵盤楽器、弦楽器、管楽器、打楽器など、多様な楽器を扱うミュージシャンで、編曲家。

本名は、桂 重高(かつら しげたか)。新潟県生まれ。母・木田恵子(2006年歿)は日本精神分析学会元会員。新潟高校75回入学→2年2学期末に東京の和光高校へ、東京藝大打楽器科入学。在学中に、ジャックスに参加した。

ジャックス解散後は、編曲家となり、「出発の歌」(上條恒彦)、「神田川」(かぐや姫)、「私は泣いています」(リリィ)「結婚するって本当ですか」(ダ・カーポ)など数々のヒット曲を手掛ける。

1975年から1980年の間ザ・ナターシャー・セブンに参加した。その後、ソロ活動を始めた矢先、交通事故で死去した。

ザ・ナターシャー・セブンに参加していた頃は「木田たかすけ」と称していた。

活動の記録 1967年 - 1969年 ジャックス 1967年、早川義夫をリーダーとするジャックスに参加。ドラム、サクソ、フルート、ヴィブラフォンを担当。

1969年 - 1974年 編曲家 ジャックス解散後は、六文銭に一時在籍した後、CBSソニー、東芝EMIを中心にアレンジ、プロデュース業を幅広く手掛けた。

1980年5月18日午前1時、山梨県の河口湖にて車を運転中に事故を起こし、同乗していたミュージシャン阿部晴彦と共に死去、31歳だった。

<1980年・追悼コンサート>

事故から約1ヶ月後の1980年6月29日、日比谷野外音楽堂で「木田高介・阿部晴彦追悼コンサート」が開かれ、1万人近くファンが集まった。この日は明け方に地震があり、一日中雨模様であった。

午後2時開場、3時開演、午後8時終了。すべてチャリティー、売り上げは二家族の遺族に送られました。

ピアニストは、ドラムをたたきたいのではないだろうか？
ポップスとジャズは……ジャズとクラシックは、別の物だろうか？
演奏家は、作曲家である必要はないだろうか？ 音楽人間は美術人間にあこがれていないだろうか？
芸術的な仕事には、物理学的な頭脳が必要ないだろうか？
学問人間は、ばかばかしい遊びに興味はないだろうか？……てな事を漠然と考えながら、31年間も生きて来てしまった。
360度に向けた好奇心と、そして、しつこめの探求心。おじさんの見てくれに包まれた、子供っぽい精神が、今一番面白がっている物は、いろんな人間を眺める事と、いろんなオモチャ……。ひとつの物に対して、いろいろと観点を変えて考えるのは、とても面白い。
そこにただころがっているビー玉。それを使って遊ぶビー玉。
ころころ転がるビー玉。光にすかして見るビー玉。溶けたガラスを、パイプの中に転がして作るビー玉。ミクロのビー玉。マクロのビー玉。ビー玉の中の気泡の宇宙。世界は際限もなく拡がってゆく。
今日も、明日も、あさっても、真剣に遊んで、もっともっと広く、そして、ちよっぴり深く生きてゆきたいと思っているのです。

1980年、春 木田高介 (ソロアルバムの「ことば」より)

◆参加ミュージシャン: ザ・ナターシャー・セブン(高石ともや・坂庭・城田と石川)、オフコース(小田和正・鈴木・大間・清水・松尾)、かぐや姫(南こうせつ・伊勢正三・山田パンダ)、風(伊勢・大久保)、五つの赤い風船(西岡たかし・長野・東・藤原秀子)、吉田拓郎、小室等、遠藤賢司、斉藤哲夫、下田逸郎、かまやつひろし、イルカ、リリィ、はしだのりひこ、北山修、ダ・カーポ、山本コウタロー、五輪真弓、加川良、沢田聖子、ダウン・タウン・ファイティング・ブギウギ・バンド(坂庭の弟も出演)、金子マリとバックスバニー、チャー、スピードウェイ、スクランブル・エッグ、上条恒彦、倍賞千恵子、吉川忠英、瀬尾一三、岡本おさみ、喜多条忠。

◆曲は: 喜多条司会、ダ・カーポ「結婚するって本当ですか」で始まり、赤い風船を中心に「遠い世界に」で幕を閉じた。ここまで揃った顔ぶれは多分後にも先にも無い。また宇崎竜童が何度も写真も撮っていた。

印象的なのは北山修が泣きながら「帰ってきたヨッパライ」、オフコースが無伴奏で「いつもいつも」、吉田拓郎が「アジアの片隅で」を30分近く歌ったことなど…。

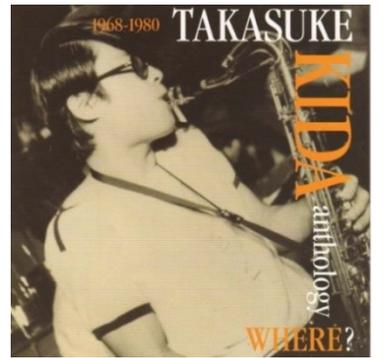
木田といえば、「神田川」「なごり雪」「出発の歌」「ルームライト」「魔法の黄色い靴」「私は泣いています」「結婚するって本当ですか」などの編曲が有名だが、ラスト全員で歌ったのは木田とは無縁の「遠い世界に」。

◆エピソード: 木田の葬儀に参列していた五輪真弓が木田の妻の悲嘆ぶりを目の当たりにし、それを基にして作った楽曲が彼女の代表作となる「恋人よ」であった。

<歿後30年、再評価！>

名編曲家、腕利きマルチプレイヤー、木田高介アンソロジーアルバム～2011年発売。

活動 : ジャックス(1967～1969)
・ジャックス: 異端・前衛～GS・フォーク・ロックでもないオリジナリティー～伝説のバンド。1960年代後半活動した日本のサイケデリック・ロックバンド。当時は一般の人気を得ることもなかったが、解散後、日本のロックの先駆者として高評価を受けた。木田の音楽的才能は抜きんでていた。ジャズを指向した音楽づくりは欧米の模倣ではない「日本のニューロック」に先鞭をつけ現在高評価を得る。



～ 木田 たかすけ よ …永遠に～

木田高介・阿部晴彦追悼コンサート
6月29日(日) 日比谷野外音楽堂(東京都港区)
開演 18時30分 開演 19時00分 入場料 2,000円(全席自由)
主催: 木田高介・阿部晴彦友人会

| | | | |
|-------|--------------|----------|-----------|
| ●出演● | オフコース | 下田逸郎 | 南こうせつ |
| 石川鷹彦 | 金子マリ | スピードウェイ | 山本コウタロー |
| 伊勢正三 | 喜多条忠 | 瀬尾一三 | 吉田忠英 |
| イルカ | 小室等 | ダ・カーポ | 吉田拓郎 |
| 遠藤賢司 | 斉藤哲夫 | 西岡たかし | かりゆし5マイナー |
| 大久保 久 | ザ・ナターシャー・セブン | はしだのりひこ | セッションバンド |
| 岡本おさみ | 沢田聖子 | パンダフル・ウス | アコースティック |

6/29 入場料 2,000円

～私のスペイン留学記“ スペイン人に学んだ生き方”～

山後 緑 (124回卒) 早稲田大3年

スペイン人に学んだ生き方

山後 緑

私は新潟高校を卒業し、東京の大学に通っている。所属する学部生 全員が一年の留学を義務付けられている学部で、私は去年スペイン・バルセロナ大学へ 留学した。高校の時にも一年アメリカへ留学を経験していたため、人生二度目の 長期留学となった。

スペインを選んだ理由としては「ヨーロッパに行ってみたい。スペイン語を勉強したい。」最初はこの軽い理由で決めてしまったが、これは人生に対する考えを変えることになった。

高校や大学では、優秀な友達や、有名企業に就職する先輩たちに囲まれて学生生活を送っていたため「留学から帰った大学三年の夏から就職活動を頑張らなければ」と、億劫に感じながらも、そう考えていた。

一方でスペイン人は働かない人たちと言われる。実際、週末に空いているお店は少ない、役所や警察の動きも遅く、更にはバスの運転手も「自分のシフトは終わり、次のドライバーが来てないからバスはここで止まる、皆さん、降りて～」とアナウンスし、乗客は「しょうがないね」という感じで納得する。特に去年はカタルーニャ独立運動のデモと重なり、この混沌とした生活に慣れるには時間がかかった。スペイン人の知り合いは「昨日仕事辞めちゃった」「今日は天気がいいし午後休んできた」など平気で毎日言う。彼らと生活しているところ「すべき」人生というより、こう「やりたい」人生を自分で作り、皆がそれぞれ色んな人生があって当たり前と感じて生きているようだ。その生き方にとっても魅力を感じながら、すべき就活よりも自分が今本当にやりたいことはなんだろうと考えるようになった。

私には心から大好きなことがある。SUP(スタンド・アップ・パドル)というマリンスポーツだ。今年は日本学生代表チームとして大会に出場するなど、今までの大学生活を捧げてきた。そして今、夢があるSUPを使って、日本の地方の自然の美しさを世界中の人達に知ってもらうことだ。



「和歌山でのSUP(スタンド・アップ・パドル)」

そのために 来年大学を休学し、SUPに乗って日本中の水辺を冒険しながら世界に発信していくことだ。

その後の将来は、やりたいことを達成してから考えよう。そんな学生生活もありかな、という考え方を与えてくれたスペインでの留学生活だった。



「バルセロナでのサッカー観戦」



「カタルーニャ独立運動の様子」

～“魅惑のハスキーボイン”～ 我が愛する「ちあきなおみ」

加藤 爾 (122回卒) 東大医学部5年

「魅惑のハスキーボイン」。

加藤 爾(あきら)



このキャッチコピーをご存知だろうか。昭和の歌手・ちあきなおみのデビュー時のキャッチコピーである。私が愛してやまないこの魅惑の歌姫について拙筆ながらご紹介させていただこうと思う。

ちあきなおみは一九六九年、「雨に濡れた慕情」でデビュー。一九七二年には「喝采」で日本レコード大賞を受賞。以後も「夜間飛行」「さだめ川」などヒット曲を出し、事務所移籍後も歌手活動を続けたが、夫の死を機に一切の芸能活動を中止し現在に至る。

私が初めてちあきなおみの「喝采」を聴いたのは、歌謡曲に興味をもちCDを買った高校一年生の時のことであった。当時の私には恋人の死を題材とした楽曲は難しく、その魅力を知ったのは大学生になってからである。透き通るようでありながらブレのないその歌声を聴きたいがために中古CDを探し、聴くほどに引き込まれていった。彼女の歌は作曲者の旋律に溶け込み一体となって、作詞者の言葉だけでなくその裏にある物語を聴く者に想像させる。

なかでもちあきなおみの魅力の溢れる楽曲として、テレビなどでも放送されることのほとんどない「波止場通り」という曲がある。2コーラスで終わる曲であるが、男と女の別れだけでなく隠された二人の恋模様までもが想像され、まるで異国の波止場町でのドラマのような情景が浮かぶ一曲である。

聴く者を魅了する彼女の歌はこれだけには留まらない。たとえば細川たかしの歌唱で有名な「矢切の渡し」。この曲は本来ちあきなおみのシングルB面曲であった。発売当時は売れたわけではなかったものの梅沢富美男が演目に使ったことから注目を浴び、A面曲としての再発売・細川たかしをはじめとした多くの歌手のカバーへと至ったのである。作曲家・船村徹は「ちあきの歌は手漕ぎの櫓で、細川の歌はモーター付の船だ」という評価を下したとされる。彼女の歌はそれほどまでに類い稀なる表現力に満ちており、人々の心を惹きつけてやまないのだろう。

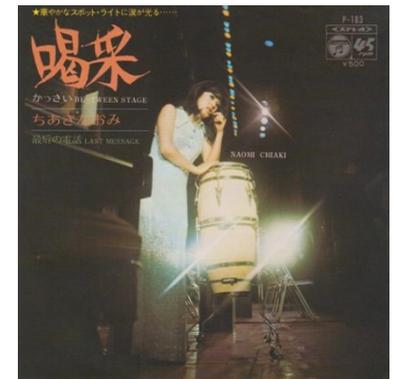
(なお「矢切の渡し」に関してはちあきの歌唱の右に出るものはないと思うが、「望郷じょんから」「佐渡の恋唄」など細川たかしにしか歌えないような楽曲があることを一人のファンとして追記しておく)。

芸能活動中止後、ちあきなおみは数々のテレビ番組で特集されるなど高い評価を受けている。

「四つのお願い」「X+Y=LOVE」のようなポップス調の歌から、「喝采」「劇場」などに代表されるドラマを描いた歌謡曲、さらには「さだめ川」「酒場川」といった演歌に至るまで歌の幅は類をみないほど広い。

事務所移籍後には「かもめの街」「冬隣」「紅い花」など新境地を開拓。ジャズ、シャンソン、ファドのような海外の楽曲のカバーアルバムまで出されている。この機会にCDを手にとりいただき、「魅惑のハスキーボイン」に酔いしれてみてはいかがだろうか。

< ちあきなおみ >



♪ 矢切の渡し ♪

作詞：石本美由起
作曲：船村 徹

「つれて 逃げてよ...」
「ついておいでよ」
夕ぐれに雨が降る 矢切の渡し
親のところに そむいてまでも
恋に生きたい 二人です

「見すてないでね...」
「捨てはしないよ...」
北風が泣いて吹く 矢切の渡し
噂かなしい 柴又すてて
舟にまかせる さだめです

「どこへ行くのよ...」
「知らぬ 土地だよ...」
揺れながら 櫓が咽ぶ 矢切の渡し
息を殺して 身を寄せながら
明日は漕ぎだす 別れです

“2018夏・在校生東京研修レポート(抜粋)”～全11箇所～

～ 東大(模擬講義含),財務省,清水建設,ANA,日本IBM,大塚製菓,共同通信社,三菱商事,ニチレイ,サッポロHDGs,サントリーPS ～

各研修先で 青山OG,OB等に ご案内していただきました!

◆東大模擬講義◆

武田洋幸(85回)ほか



・武田洋幸教授(理学部長): 大学紹介後、理学・人文学等共通で学ぶロジカルな考え方が社会に出て大変役に立つと学んだ。講義で「発生」を初めてはつきりと見た。毎日そんな素晴らしい瞬間を見れるなんて素敵だと思いました。また、世界とのつながりも近く、思う存分研究に楽しめそうでした。

・遠藤一佳教授: メタボリックタイムマシーンと変則遺伝暗号の進化等の地球惑星科学が興味深い。地球歴史46億年で、全生物最終共通祖先は22億年以降との話に驚いた。

・吉田真吾教授: 新潟の堆積層は日本最大で長周期波地震が多い。1964年の新潟地震の被害や死者が少なく避難方法も含め、防災意識の高さを伝える必要があると。

・野崎勲教授: 本や映画が世界を切り開いてくれるとの言葉が印象的。人生の意味を考えることもできる。また、人文学とは人間の存在とは何か? 人間は何の為に生きるのか? を絶えず問いかけることだと。

★講義の中での「若いうちに学問の良さ・素晴らしさを知ってほしい」が印象的。世界を見る視点と感受性を養うのが学問なのだ。

◆東大青山会との進学座談会◆

東大の先輩との座談会では気さくに勉強の仕方、時間の使い方などを教えてもらい、努力と気持ちで合格したなど刺激をいただいた。皆さん自分に合った部活・学習・睡眠の生活のリズムを確立され、定期考査の取組方では解法の繰り返し・満点目指す本気等に感動。E判定でも模試は上の志望校を目指す等々。

東大は入学後でも学部を選べる。勉強は国語(特に漢文・古文)、数学は青チャート、英語は普段の話題や出来事が英作や論文の題材にもなり高2で沢山経験すると良い等。

「圧倒的基礎力と授業第一主義」が重要。また、勉強に対する負のイメージをなくし、楽しみながら勉強し良いサイクルを作ること、英語の漫画を読んだり筆記用具に拘りを持ったりとか自分に合ったやり方でもよい。

東大青山会の皆さんから、進路相談で沢山のアドバイスをいただきました。授業は塾よりも大切。テストは満点をとるつもりで頑張る事、毎日勉強を続ける事、復習が大切、モチベーションを下げない事等。意識が高まりました。

◆財務省◆



有能な人材が集い国庫を管理するが、お金の節約を意識していると感じた。ある財務省マンは、高校時代に友に話した夢を目標に努力し、憧れの財務省に勤務できたと。目標+夢は声に出して意識し努力するのが大切と感じた。また仕事では、真心が大切とも。財務省でなくとも働くうえで最も大切ではないかと思う。

◆清水建設(株)◆



建設会社は設計と現場仕事が主と思っていたが様々な技術者が色々な分野の研究も行うのを知った。特に地震対策では耐震構造よりも免震構造が揺れを抑え家具等転倒も少ないのを模型で可視化できた。さらに各階を固着せず逃げを取り、エレベータ階段も吊るす等様々に工夫。人工で自然環境の再現庭での動植物の観察等の生態系維持の研究もしている。

◆ANA(株)◆



飛行機を1機飛ばすのにかくも多くの人が関わることを初めて知った。多くのお客に心地よい旅を楽しんでもらうのは大変だがやりがいがあると。また、状況にあわせた判断を都度その場で動いて行くと。例えばチーム医療なども医療分野だけでなくどこでも応用できると。講師の西田さんから、高校生活で選択に迷った時はどちらがより充実させられるかで選んで!との言葉が印象的。パイロットの月次スケジュールは、外国との時差調整や休息3日等とても不規則で、また任期は1年で毎年厳しい身体検査が必要など驚いた。「自分の可能性を狭めない」との言葉が印象的でした。

◆日本IBM(株)◆



社員は主に理系出身者かと思いきや文理系半々とのことに驚く。能力に応じて仕事を任せるのが印象的。若手の段階でも仕事で実績を残し上司にアピールすれば大きな仕事も任せられるのもやり甲斐となる。専門性や個性のある社員が多く働いているとのこと、また、韓国出身社員も上手に日本語を駆使しており語学力とコミュ力も必須だと感じた。



日本IBM社にて

東大模擬講義



東大青山会・座談会



“2018夏・在校生東京研修レポート(抜粋)”～全11箇所～

～ 東大(模擬講義舎),財務省,清水建設,ANA,日本IBM,大塚製菓,共同通信社,三菱商事,ニチレイ,サッポロHDGs,サントリーPS ～

各研修先で 青山OG,OB等に ご案内していただきました!

◆大塚製菓(株)◆

創業は化学原料事業で社員10人と驚く。今は海外拠点も含む大企業の道のりを知る。「どの企業にもない新たな事業を創造」が大切でいかに認めてもらえるか様々な手段を駆使すると。例えばポカリスエットは清涼飲料という初のジャンルで、最初は美味しくなかったがCMやイベントを通じ人々に馴染む姿へ進化した。創造には多くのジャンルの様々なものに触れる経験が大切とのこと。

将来、医薬系の職業に就きたいと思い、貴重な話を聞くことができた。まずは企業理念に感動した“自ら独創的で健康に役立つ製品を開発し世界の人々に貢献する”。また、モノマネをしないために新薬をつくるという話も。それには多様性から生まれる創造性が必要となる。

創造性を育むためにも、当社で聞いた「常識を疑え」との言葉を突き詰めて行きたいと思った。その中で生じた疑問はきっと未来に向けた第1歩となると思います。今回、医療関連事業のほかにも、ニュートラシューティカル事業においても私たちの生活に大きく関わっていることをあらためて学びました。

◆共同通信社◆

世界と常につながり情報を日夜やりとりする現場の緊張感を間近で感じ圧倒されるばかりでした。新聞の情報がどのように送られるのかも知った。分かり易い記事を書くには先ず記者が出来事をよく知らなければいけないとの鉄則をプロは最も大切するとの言葉が印象的。

◆三菱商事(株)◆

新潟高校OBから直接話を伺え特別な体験をいただきました。近年の事業経営では、第三者的なコンサルではなく各企業との共闘という点が印象的。その成長過程では、人材育成、種々のノウハウ等が関わり、海外拠点ともグローバル化に対応する。入社8年目までに海外赴任のシステムもある。自分も留学、コミュカ、経験等、努力したい。



サントリーパブリシティサービス(株)

◆サッポロホールディングス(株)◆

普段、商店の棚にどこの商品がどれだけ並んでいるかなんて考えたこともなかったが、その割合もすべてでは営業担当の頑張りの証と初めて知った。

ビッグデータからなぜこれが売れたかを自分なりに仮説を立て次の売り上げに生かすとの説明に、これぞビジネスだとワクワクした。進路の講演会などでも営業の話は出たことがなく新しい視野が広がりました。商品を売るというプロセスにいかにも多くの人が関わり大変なことと認識を新たに実感できた。

当社の5事業部門にわたる展開に驚いた。即ち、国内酒類事業・国際事業・食品飲料事業・外食事業・不動産事業。中で特に2点に興味を持った。1つ目は、社会と共栄するための取り組みです。子供がお金の使い方や学びながら職業体験ができるという

「レモネードスタンド」で、子供が楽しめるだけでなく集めたお金を小児がん治療のために寄付されるものです。こうした取り組みを通して社会貢献する姿はまさに私の理想とするもので大変印象的でした。2つ目は、原材料調達から廃棄・リサイクルまでの各段階で3Rを進めていることです。地球温暖化の深刻化に対する主体的姿勢はいま最も必要なものと思います。今回の研修で未来を探すための視野が広がりました。

◆ニチレイ(株)◆

美味しい冷凍食品を多く出す企業に多くを学んだ。多くのグループと種々の食品に携わるのを実感した。中でも冷凍技術で、冷凍時間が短いほど中の氷の結晶が小さく、電子レンジの解凍では結晶が小さいほど美味しい事、冷蔵より冷凍の方が食品中のビタミンCの減り方が小さいと、様々な動画も交えての説明に魅力を知った。



ニチレイ(株)

◆訪問先企業名と各ご案内者◆

敬称略;(数字)卒回。(一)青山以外。…名;参加者数

< 2018.7.31 午前 >

- ・財務省 ; 大津俊哉(91回) 38名
- ・清水建設(株); 吉井正行(86回) 30名
- ・ANA(株) ; 西田良一(111回) 30名
- ・日本IBM(株); 坪井俊樹(90回) 30名
- ・大塚製菓(株); 西岡美由紀(一) 30名

< 2018.7.31 午後 >

- ・共同通信社; 由藤庸二郎(87回) 38名
- ・三菱商事(株); 三浦 豪(121回～?) 30名
- ・ニチレイ(株); 上野恭明(一) 30名
- ・サッポロホールディングス(株); 矢崎哲夫(一) 30名
- ・サントリーパブリシティサービス(株); 樋熊真友子(一) 30名

◆サントリーパブリシティサービス(株)◆

当社は、サントリーグループ各社の広報、企業PR、コンサートホール運営等、様々なことを行っている。時には、他社の社員として働くこともあるとのこと。場合によっては、半年も下調べをすると聞き、他社の社員として働くことの異なる責任の重さは計り知れないと思う。

また、当社には「OUR CREDO」なるものがあり、18のスタンダードがあるという。例えば接客に失敗したとしても「このひとつは守れた」と誇れるものを持つための制度で、失敗しても自信を取り戻すのに良いと思えた。「3つの“きく”」についての話も印象に残った。TPOに応じて“きく”を使い分けて、快適な接客を心がけているそうで私も見習いたいと思った。



年会費納入者一覧 ; H30.4.1~H31.3.31現在

本会は、皆様の年会費で運営しております。ぜひ、納付のご支援ご協力をお願いします。

- 50回(1名) 上村光司
- 51回(1名) 北村 茂
- 52回(3名) 小嶋嘉彦 齋藤泰五郎 廣川 勲
- 53回(2名) 中島常雄 堀 時男
- 56回(5名) 赤坂長弥 網干道雄 井上菊雄 <1> 加藤勝則 清野誠二
- 58回(4名) 浅田秀雄 片桐欣哉 岸田 博 福田 満
- 59回(11名) 板井 裕 梅沢貞雄 <3> 岡田 久 笠井 駿 小村幸久 <5> 茂泉喜彦 関野光弘 高橋晴夫 高山昇二郎 長橋敏雄 納谷喜郎
- 60回(13名) 池浦厚司 <1> 笠原 功 金山常吉 小林吾郎 小林 満 齋木守雄 杉野剛博 高城英雄 <3> 中田 亨 長谷川秀三 早川貞夫 藤本 剛 丸山敏規
- 61回(17名) 安宅久憲 安藤友憲 伊藤英子 大橋恒夫 木村政雄 草間光俊 熊谷隆幸 小林孝司 <3> 小林元雄 小山達人 助川孝雄 竹尾 昇 <1> 田中 宣 徳田晋也 長沼雄峰 村岡公夫 村山 健

- 62回(9名) 石黒 恒 <1> 内山隆之 小池健治 <1> 近藤哲朗 曾我 健 手操 聰 <3> 嶺 國和 渡辺貢英 渡辺千里
- 63回(4名) 浅野康一 <4> 五十嵐房子 市川瑞夫 白倉 至 <1>
- 64回(23名) 青野 啓 岩淵道夫 植村鞆音 遠藤治一 <3> 大石正晃 <1> 太田健治 風間治雄 <3> 川井文夫 木山 清 坂井俊一 佐藤 章 佐藤茂司 清水良男 須田嶺治 高橋正幸 田才邦彦 田辺元彦 田村康一 <1> 澤澤靖郎 星 満 真壁日史郎 <1> 榊瀧晴夫 松田 勲
- 65回(8名) 安藤宜清 五十嵐 徹 河合英次 佐藤武行 鈴木衛士 濱田庄市 山本和親 横山修二
- 66回(5名) 石山芳春 稲月喜一 合田晴美 <10> (5年; ~2021) 高橋 守 吉田六左エ門
- 67回(13名) 石井幹男 岡崎 功 小野勝義 片桐靖忠 片山忠一 北村紘一 佐々木邦夫 清水雄伍 鶴賀政行 寺井 宏 西 章 前田康久 三堀 浩
- 68回(8名) 上村嶺子 草野 佐 小日向信光 重野康人 竹石 肇 <1> 長沼誠二

- 69回(7名) 青木利祐 小黑朋弘 小黒朋靖 佐藤孝靖 菅沼 浩 高木敏之 永井晴美 矢川一義
- 70回(7名) 池田好正 猪口 孝 札木俊明 菅原一雄 山富士郎 渡辺允雄 渡部美那実
- 71回(9名) 五十嵐 勤 内山博勝 太田 裕 柄沢 卓 齋藤 誠 高橋 稔 堀 清忠 松田裕子 宮村達男
- 72回(17名) 阿部史郎 宇田川由美 金巻裕史 神林賢治 黒木トシ子 小嶋修一 小林正昭 近藤 正 齊藤俊正 篠原一博 菅又 滋 富田由李 <5> 中地光子 西村正徳 <10> (5年; ~2021) 野村耕治郎 古山恒夫 宮村 晋 <10> (5年; ~2022)
- 73回(4名) 雨宮則夫 飯村 修 田辺研吉 山田美成
- 74回(41名) 藍沢幹人 青海 潔 味方 冽 <3> 池 一 池田正行 池田 裕 石川克彦 石山 范 和泉 潤 伊藤 宏 岩城修平 <3> 大石憲一 太田正孝 大滝 均 岡村康生 <10> (5年分~2022) 片野忠一 <1> 川田澄子 <10> (5年分~2022) 菊池 隆 工藤義夫 解良和郎

- 小林淳子 斎藤一幸 坂井 靖 坂爪久男 佐藤俊栄 佐藤信秋 <6> 関川修一 高橋 保 高橋信郎 田村栄作 土屋彰義 堤 葵 西田百合子 西脇雄一 原 信一 萬歳芙美子 三田村健一 宮嶋良夫 谷中健治 若林源基 渡部終五
- 75回(18名) 有順頤子 五十嵐 正 笠井 忠 川上 滋 木戸 守 小泉慈行 後藤輝雄 白鳥十三 鈴木正夫 高木久夫 橋爪博美 服部 昭 馬場俊博 萬歳信行 深沢義和 藤井建一 藤瀨利勝 渡部一俊
- 76回(37名) 青山耕一 明村澄雄 朝妻 厚 阿部令一 阿部緑生 天野直二 板羽 健 岩橋俊朗 大竹力三 <5> 大山哲司 尾張明美 <6> 加澤正樹 賀谷彰夫 木下正仁 久住 治 蔵持典与 後藤徳広 小宮山信男 近藤壽邦 指田久美子 <3> 鈴木茂夫 曾田修吉 田中邦直 太原まゆみ 田村俊作 中川英二 <3> 長北 学 西沢芳樹 長谷川邦良 八田進二 林 誠 <3> 細谷洋一 丸山俊夫 湊 勝 <3> 湯本雅恵 渡辺 拡 渡辺雅夫

- 77回(6名) 石川 彰 片山 等 北村一雄 佐藤 茂 長谷川 実 山田民夫
- 78回(12名) 石丸隆夫 太田秀樹 齋藤藤之丞 志藤洋子 篠田敏朗 須田幸子 <3> 高井博英 滝沢道夫 松田元男 肥田博子 <3> 前田長生 吉澤哲彦
- 79回(9名) 内山 修 <5> 内山章治 河 正子 <3> 川上康夫 林 綾子 星名健二 丸山直昌 <3> 鳥羽正尚 富山浩司
- 80回(7名) 青木隆次 長 正子 <4> 大霜博之 小林亮介 齊藤正春 清水洋一 竹本泰子
- 81回(6名) 荒川 洋 越野昌芳 玉木勝一 成海孝二 山田 徹 <3> 鰐淵 博
- 82回(8名) 柴森秀一 日下部朋子 小亦 斉 斎藤 滋 内藤 理 西山活子 福嶋 元 宮村伸一 <4>
- 83回(7名) 浅間芳朗 遠藤光郎 高山佳郎 豊田 清 野呂咲人 <5> 山口虎彦 横山 修
- 84回(10名) 赤塚徳子 飯塚雅士 太田淑子 唐澤亜弥子 島津 孝 田崎正巳 田中昌夫 野口俊介 嶋 昌樹 星野紹英 <10>

- 85回(10名) 浅田浩義 今井豊茂 奥村 基 澤井伊知子 塩田拓哉 田中 清 菅米地 令 森 大輔 吉田真吾 <10> 渡辺友紀子
- 86回(3名) 齋藤 健 宮腰重三郎 吉井正行
- 87回(2名) 清水忠明 南 正人
- 88回(4名) 今井信一郎 大越健介 <5> 楠谷洋史 小竹 聡
- 89回(4名) 岩野尚子 紺野由紀子 山田敏昭 渡邊克彦
- 90回(17名) 雨宮喜美子 池田美弥子 歌代真人 歌代幸子 勝山達志 <4> 木村和人 小林 到 小林美奈子 斎藤 彰 斎藤結花 白川 裕 坪井茂樹 中村 泰 樋口正史 森 豊 渡邊修也 渡辺正明
- 91回(1名) 長田 充
- 92回(2名) 上杉恒彦 前田光俊
- 94回(1名) 小松朋子
- 95回(1名) 山崎健太郎
- 99回(1名) 君和田俊裕 <5>
- 101回(6名) 阿部智信 小田和哉 後藤 卓 鈴木由貴子 本間昌治郎 柳下史織
- 102回(2名) 尾口優子 廣瀬千尋

- 103回(3名) 小林 崇 廣川俊之 鷺尾英一郎
- 104回(1名) 佐藤 晃
- 105回(1名) 柳通こずえ
- 106回(1名) 星野善宣
- 110回(2名) 石崎 徹 酒井優理子
- 113回(2名) 佐藤あずさ 関 佑樹
- 115回(2名) 小甲洋輔 本井典子
- 116回(1名) 本間友香理 <1>
- 117回(3名) 榎本飛鳥 水間有紀 宗村泰孝
- 118回(1名) 会田俊貴
- 119回(1名) 槁 孝哉
- 120回(3名) 石附 愛 大岡祐治 宮本真理子
- 121回(2名) 池田大樹 柄澤友幹
- 122回(2名) 加藤 爾 田中麟太郎
- 123回(1名) 五十嵐 将
- 124回(2名) 寺井 悠 藻谷美月
- 126回(8名) 青木成美 伊藤壮史 <3> 齊藤百歌 佐藤真生 <1> 高橋美結 土田遠哉 長浜朱音 庭野ほのか

注釈 < >内数字 ; 単位、千円 (〇年分 ; ~年まで、等) 氏名< >記載無は2千円

以上 計420名 (~2019.3.31) 納付額計 935千円

目標額は達成!

<目標> <実績>

◆額; 900 → 935 (千円)

◆人; 450 → 420

目標 450名! 当同窓会は皆さまの「年会費」によって運営しています。年会費納付のご協力をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。